

目次

目次	1
安全上のご注意	2
使用上のご注意	10
安全に関する情報	10
安全上のご注意	11
目の安全に関する警告	13
はじめに	14
製品の特長	14
パッケージ内容	15
製品の各部名称	16
本体	16
コントロールパネル	17
接続端子	18
リモコン	19
設置方法	20
プロジェクターの接続	20
プロジェクターの電源オン/オフ	21
プロジェクターの電源を入れる	21
プロジェクターの電源を切る	22
警告インジケータ	22
投射映像の調整	23
プロジェクターの高さを調整する	23
プロジェクターのズーム/フォーカスを調整する	24
画面サイズと投射距離の目安	24
ユーザーコントロール	25
コントロールパネルおよびリモコン	25
オンスクリーンメニュー	28
操作方法	28
メニューツリー（階層）	29
イメージ	30
ディスプレイ	36
セットアップ	39
オプション	43
付録	46
故障かなと思ったら	46
画像の問題	46
中断の問題	49
プロジェクターステータスの表示	49
リモコンの問題	51
ランプの交換	52
互換モード	54
RS232コマンド	56
天井への取り付け	59
Optoma 社 お問い合わせ先	60
規制と安全に関する通知	62

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
--	---

●絵記号の意味

	この記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。
例) 	「感電注意」を表す絵表示
	この記号は禁止の行為（やってはいけないこと）を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例) 	「分解禁止」を表す絵表示
	この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例) 	「電源プラグを抜く」を表す絵表示

安全上のご注意

注意

本製品は以下のようなところ（環境）で使用および保管をしないでください。

故障の原因となることがあります。

- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）
- 湿気が多いところやホコリが多いところ
- 直射日光があたるところ
- 温湿度差の激しいところ
- 水気の多いところ（台所、浴室、水辺、海岸など）
- 腐食性ガス、油煙の中
- 静電気の影響が強いところ
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーター、コンロなど）
- 強い磁力電波の影響を受けるところ（磁石、ディスプレイ、スピーカなどの近く）
- 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所
- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）



禁止

本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない



禁止

ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、接触不良などの原因になります。



厳守

ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。
- コンセントを別に分けてしてください。



厳守

安全上のご注意



厳守

長時間に渡って映像をみるばあいは一定の間隔で休憩をとってください。また部屋を真っ暗にすると目に疲労が蓄積されますので部屋を適度に明るくしてご覧ください。



禁止

排気ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。冷却ファンの回転音が止まり、主電源をオフしてから電源ケーブルを抜いてください。



禁止

ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。



厳守

ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はご使用後1時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。



厳守

ランプモジュールを落とさないようご注意ください。ガラスが散り、けがをする恐れがあります。



禁止

指定の電池（単4型乾電池）以外は使用しないでください。指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。



厳守

電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出してください。

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。



厳守

取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。（電池には+極と-極があります。）故障の原因となります。



注意

本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

安全上のご注意

警告



煙がでている、へんなにおいがする、へんな音をするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。



水濡れ禁止

本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。



厳守

本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。



禁止

本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。



禁止

本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。火災の原因となることがあります。



厳守

温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。



分解禁止

改造・分解はしないでください。お客様により修理は行わないでください。火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。



禁止

本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通風孔には異物はいらないよう注意してください。



禁止

ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。



禁止

使用中はレンズをのぞかないでください。レンズからは非常に強い光が発せられていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

安全上のご注意



禁止

リモコンのレーザー光を目にあてたり、人の目にあてたりしないでください。

目を痛める原因となりますので、絶対にのぞき込まないでください。本リモートコントロールにはクラスIIレーザーが装備されています。



禁止

本製品は下記のようなところで使用しないでください。故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。

- ほこりの多いところ
- 振動や衝撃の加わる場所
- 不安定な場所
- 通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）がふさがるところ
- 温度差の激しい場所
- 水分や湿気の多い場所
- 温度が高い場所



禁止

使用中や使用後は排気孔（レンズのある面）およびその回り、設置台が熱くなります。

やけどの原因になりますので、触らないでください。



厳守

ランプモジュールを交換するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となります。



禁止

ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。

- 引っ張ったり、折り曲げたりしない
- 圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない



厳守

電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。



厳守

電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行なわないで下さい。濡れた手で行うと感電の原因になります。

安全上のご注意



禁止

電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。

- 電池の液が目にはいたり、体や皮膚につくと失明やけが、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
- 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがが症状があるときは、医師に相談してください。



厳守

電池は小さな子どもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。



禁止

+) (－) を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。



厳守

電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。



禁止

電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。



厳守

電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことにご注意ください。

- 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください。
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。
- 濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。
- 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。



注意



発火注意



厳守

本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

設置場所について

本プロジェクターは200 wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

- 風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通風孔（レンズに向かって右側面と背面）をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
- 高音になる場所には設置しないでください。直射日光にあたる場所や、熱器具（ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど）の近くに設置しないでください。
- 屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
- 設置場所の強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを十分に注意し、安全に設置してください。
- 油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
- 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

- 画面との距離を適度にとってご覧ください。
- 暗い部屋での使用は目によくないので。適度な明るさの中をご覧ください。長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

- レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
- 水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
- 清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

廃棄について

廃棄するときは、地方自治体が定める条例にしたがってください。

ランプの寿命について

- 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。標準約2,000時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページの方法に従い、ランプモジュールを交換してください。
- ランプは消耗品扱いです。
- ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ランプの寿命について
ランプは個々の特性により、大きく差がございました。また、ご使用条件、環境、使用経過による劣化などにより、大きく寿命が異なる場合があります。予め交換用ランプを準備しておく事をお奨めいたします。

その他注意事項

- 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 持ち運びするときは、付属のソフトケースに入れて衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
- レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たたいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
- やむを得ず宅配便などで郵送する際は、オプションの専用ハードケースを利用するか、購入時のダンボールとクッションをお使いすることをおすすめします。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあります。



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全に関する情報

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の狂態内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」があることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに重要な操作およびメンテナンス(アフターサービス)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

警告: 感電の恐れがあるため、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。開けるときは、専門技術者にご依頼ください。

Class B 放出制限

このClass B デジタル機器は、カナダ障害原因装置規制のすべての要件を満たしています。

大切な安全に関する指示

1. このプロジェクターを使用する前に、これらの指示をお読みください。
 2. これらの指示を保管して、必要に応じて参照してください。
 3. すべての指示に従ってください。
 4. メーカーの指示に従って取り付けてください:
 - A. 換気孔を塞がないでください。プロジェクターの安全な操作を確保するために、また過熱から保護するために、プロジェクターは適切な換気を妨害しない位置や場所に設置してください。例えば、プロジェクターをベッド、ソファ、カーペット、または換気孔を防ぐ可能性のある類似表面の上に置かないでください。換気孔から空気の流れを阻止する可能性のある本箱やキャビネットなどの、囲われた場所に本機器を設置しないでください。
 - B. このプロジェクターを水気や湿気のあるところで使用しないでください。火災や感電の原因となるため、プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。
 - C. ラジエーター、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、熱源の傍に取り付けしないでください。
 5. 乾いた布で拭いてください。
 6. 製造元の指定する付属品/アクセサリのみを使用してください。
 7. アフターサービスはすべて、公認のサービススタッフに依頼してください。プロジェクターが以下のどれかが原因で損傷したとき、アフターサービスが必要となります 例:
 - ☐ 電源装置のコードまたはプラグが損傷した。
 - ☐ 液体がこぼれた、または物体が器具の中に落ちた。
 - ☐ プロジェクターが雨や湿気にさらされた、正常に作動しない、または落とした。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。最寄りの正規サービスセンターについては、Optomaまでお電話でお問い合わせください。
8. プロジェクター内部に物体や液体が入らないようにしてください。危険な電圧ポイントやショートしやすい部品に触れ火災や感電の原因となります。
 9. 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
 10. プロジェクターは適切な資格を持ったサービススタッフ以外には、調整または修理することができません。

安全上のご注意



このユーザーズガイドで推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

- **警告-** ランプ点灯中は、プロジェクターレンズをのぞかないでください。強力な光線により、視力障害が引き起こされる恐れがあります。
- **警告-** 火災や感電の原因となるため、本プロジェクターを雨や湿気にさらさないようにしてください。
- **警告-** プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電する恐れがあります。
- **警告-** ランプを交換する際は、本体の熱が冷めてから行い、取扱説明書に記載の指示に従ってください。52-53ページを参照してください。
- **警告-** 本プロジェクターは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。
- **警告-** ランプモジュールを交換した場合は、オンスクリーンメニューの「オプション | ランプ設定」にある「ランプリセット」機能を使用してください（45ページを参照してください）。
- **警告-** プロジェクタの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したのを確認してから電源コードを抜いてください。90秒間プロジェクタを冷却してください。
- **警告-** プロジェクタの動作中は、レンズキャップを使用しないでください。
- **警告-** ランプの寿命に近づくと、画面に「ランプ警告: ランプの寿命を過ぎています。」というメッセージが表示されます。できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。
- **警告-** 目を損傷する原因となるため、リモコンのレーザー光線を見つめななり、レーザー光線を他の人の目に向けしないでください。このリモコンには、放射線を出すClass IIのレーザーが装備されています。



- ❖ ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクターの電源は入りません。「ランプの交換」（52～53ページ）に記載の手順に従ってランプを交換してください。

使用上のご注意

推奨事項:

- ❖ お手入れをするときは、プロジェクターの電源を切ってください。
- ❖ ディスプレー筐体は、中性洗剤で軽く湿らせた柔らかい布で拭いてください。
- ❖ 本製品を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項:

- ❖ 装置の通風用スロットや開口部を塞がないでください。
- ❖ 本体を研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- ❖ 以下のような環境下では使用しないでください。
 - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
 - ▶ 周囲の室温が5 - 35°Cの範囲に入っていることを確認してください
 - ▶ 相対湿度は5 - 35°C、80%(最大)で、結露はありません
 - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
 - 強い磁場を生成する機器の近く。
 - 直射日光の当たる場所。

目の安全に関する警告



- 常にプロジェクタの光線をまっすぐ見つめることは避けてください。
- 光線と迎えあったところを避けてください。できる限り光線には背を向けるようにしてください。
- 発表者が光線にさらされないように、棒またはレーザーポインタのご使用をお勧めします。
- プロジェクターはスクリーンと観衆の間に設置されないことにしたら、発表者は観衆に見るとき、プロジェクターのランプに迎えあうのを避けられます。ですから、プロジェクターは床やテーブルより天井に取り付けるほうが最適です。
- プロジェクターを教室で使用する時、学生が前に出てきて、画面の何かを指差すように要求されたとき、光線に気をつけるよう適切に指導してください。
- 必要とされるランプの電力を最小限に抑えるために、部屋のブラインドを下ろして周辺光のレベルを下げてください。

製品の特長

本製品は、720p シングルチップ 0.62" DLP® プロジェクターです。
以下のような優れた機能を備えています。

- ◆ ネーティブ16:9 720p DLP®テクノロジー
- ◆ HDMI & コンポーネントのサポート
- ◆ コンピュータの互換性:
Apple Macintosh, iMac, およびVESA標準:
UXGA, SXGA+, SXGA, XGA, SVGA, VGA
- ◆ ビデオ互換性:
 - NTSC M/J, NTSC4.43
 - PAL B/D/I/G/H, PAL M, PAL N
 - SECAM B/D/G/K/L
 - SDTV互換性 (480i/p, 576i/p)
 - HDTV互換性 (720p, 1080i, 1080p)
- ◆ ユーザーが設定を定義できる自動ソース検出
- ◆ 全機能対応 赤外線リモコン (バックライト付)
- ◆ 操作が簡単な多言語対応オンスクリーンメニュー
- ◆ 内蔵の2ワットスピーカー (x1)
- ◆ 個別のオーディオ入力 (x3)
- ◆ 高度デジタルキーストン補正 (台形補正) および高品質フルスクリーン画像リスケール
- ◆ 操作が簡単なコントロールパネル
- ◆ MacintoshおよびPC互換
- ◆ DVI-D対応 (HDCP準拠)
- ◆ TrueVivid™ イメージテクノロジー



❖ HDMIはHDCP機能をサポートします。

パッケージ内容

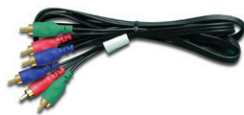
本パッケージには、プロジェクター本体および以下の付属品が含まれます。まず、すべての付属品が揃っていることをご確認ください。万一不足品がございましたら、お手数ですが販売店までご連絡ください。



レンズキャップ付プロジェクタ



電源コード



RCA コンポーネントケーブル (YPbPr)



Sビデオケーブル
(EMEAおよびASIAバージョンでのみ使用可能)



VGAケーブル
(EMEAでのみ使用可能)



コンジットビデオケーブル(ASIAおよびUSでのみ使用可能)



※ 付属品はお住まいの国や地域によって異なる場合があります。



SCART RGB/S-ビデオアダプタ
(EMEAでのみ使用可能)



IRリモコン



単四電池 (2本)

電源コードについて注意事項：

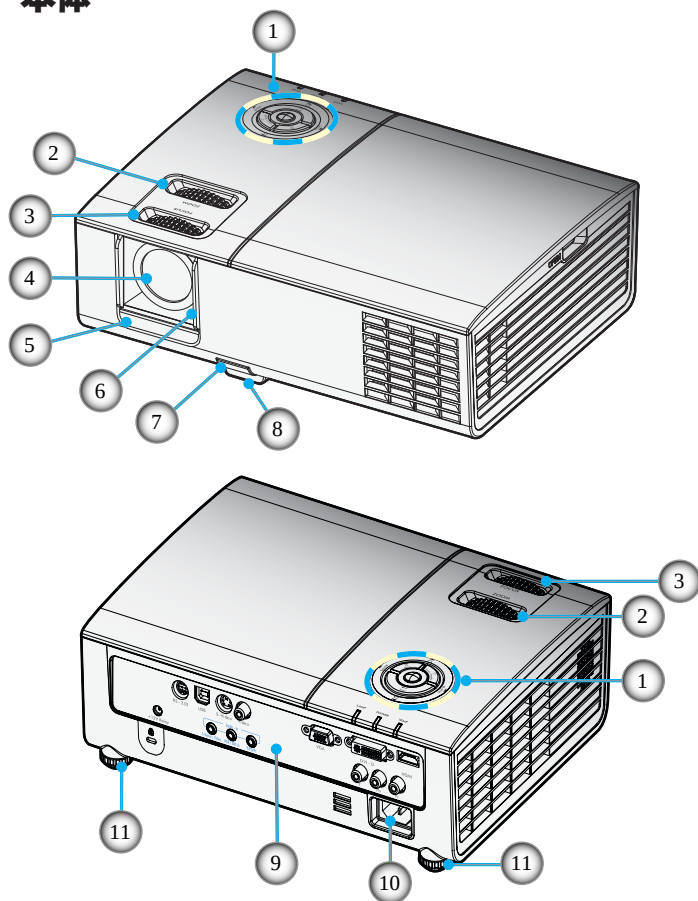
1. 必ずアース接続を行ってください。
2. アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行って下さい。
3. 本製品付属電源ケーブルは日本国内仕様 (AC100V) になりますので、海内での使用できません。

文書：

- ☒ ユーザーズマニュアル
- ☒ 保証書
- ☒ クイックスタートカード

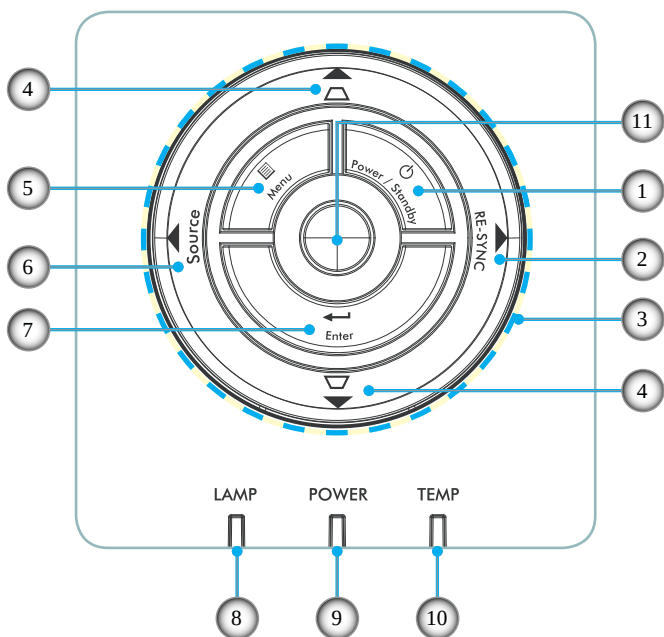
製品の各部名称

本体



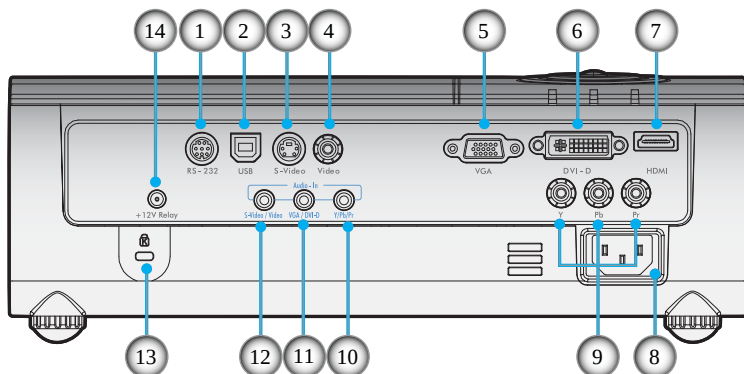
- | | |
|--------------|--------------|
| 1. コントロールパネル | 7. エレベータボタン |
| 2. ズーム | 8. エレベータフット |
| 3. フォーカス | 9. 接続端子 |
| 4. ズームレンズ | 10. 電源ソケット |
| 5. 赤外線レーザー | 11. チルト調整フット |
| 6. レンズドア | |

コントロールパネル



1. 電源/スタンバイ
2. 再同期
3. 4方向選択キー
4. キーストーン補正
5. メニュー
6. ソース
7. ENTER
8. ランプLED
9. 電源 LED
10. 温度LED
11. 赤外線レシーバー

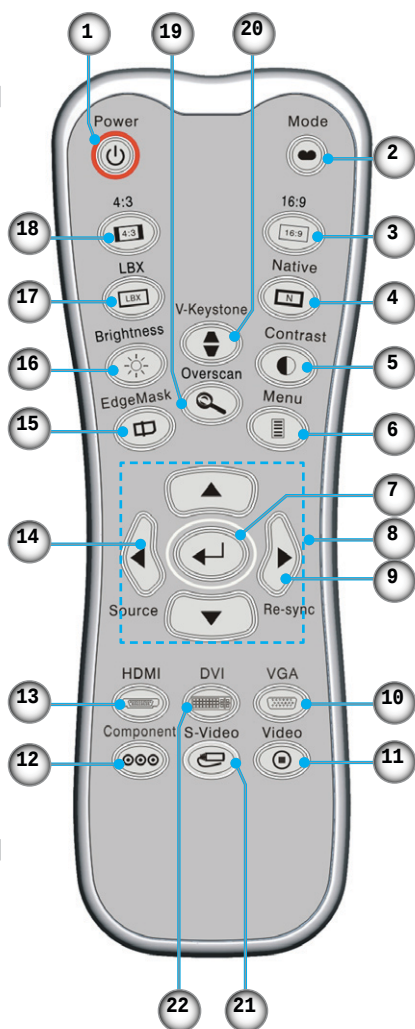
接続端子



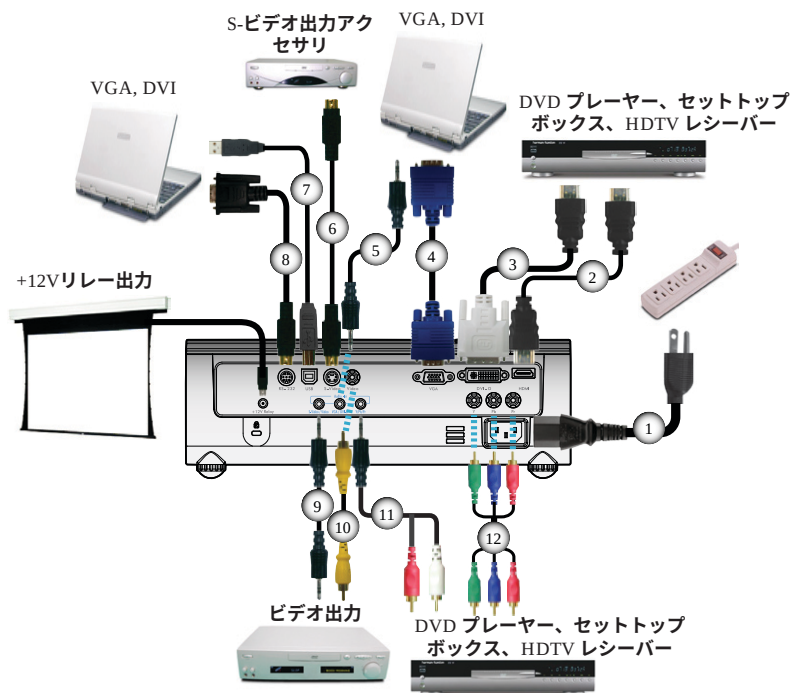
1. RS232端子
2. USB端子 (PCと接続/リモートマウス機能用)
3. S-VIDEO入力端子
4. コンポジットビデオ入力端子
5. VGA入力端子
6. DVI-D入力端子(PCデジタルおよびHDCP)
7. HDMIコネクタ
8. 電源ソケット
9. コンポーネントビデオ入力端子
10. オーディオイン(コンポーネント端子用)
11. オーディオイン(VGA/DVI-D端子用)
12. オーディオイン(Sビデオ/ビデオ端子用)
13. KensingtonTM ロックポー
14. +12Vトリガーリレー端子

リモコン

1. 電源オン/オフ
2. モード
3. 16:9
4. Native
5. コントラスト
6. メニューフォーマット
7. Enter
8. 4方向選択キー
9. 再同期
10. VGAソース
11. ビデオソース
12. コンポーネントソース
13. HDMIソース
14. ソース
15. エッジ マスク
16. 輝度
17. LBX
18. 4:3
19. オーバースキャン
20. 垂直キーストン
21. S-VIDEOソース
22. DVIソース



プロジェクターの接続



❖ 付属品はお住まいの国や地域によって異なる場合があります。

- | | |
|---------|-----------------|
| 1..... | 電源コード |
| 2..... | HDMIケーブル |
| 3..... | DVI-Dケーブル |
| 4..... | VGAケーブル |
| 5..... | 音声入力ケーブル |
| 6..... | S-VIDEOケーブル |
| 7..... | USBケーブル |
| 8..... | RS232ケーブル |
| 9..... | 音声入力ケーブル |
| 10..... | コンポジットビデオケーブル |
| 11..... | 音声入力ケーブル |
| 12..... | RCA コンポーネントケーブル |

プロジェクターの電源オン/オフ

プロジェクターの電源を入れる

1. レンズドアを開きます。❶
2. 電源コードと信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。❷ 電源LEDは黄色になります。
3. プロジェクター上部の「Power/Standby(電源/スタンバイ)」またはリモコンの「Power(電源)」ボタンを押して、ランプの電源を入れます。電源LEDが緑で点滅します。

起動画面は約10秒後に表示されます。初めてプロジェクターを使用するとき、起動画面が表示された後にクイックメニューから好みの言語を選択することができます。

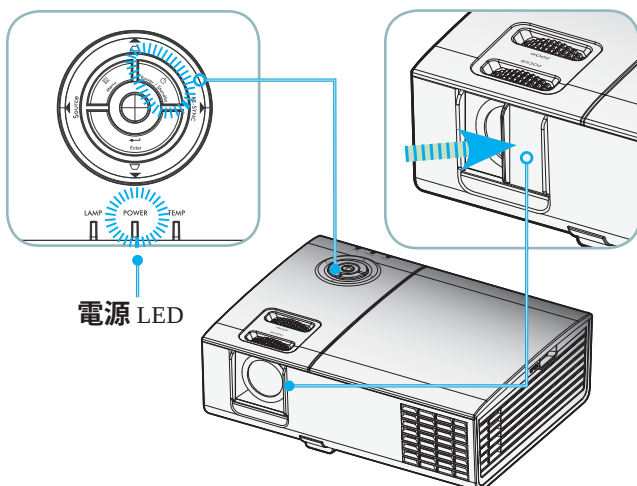
4. ソース（コンピュータ、ノートパソコン、ビデオプレーヤー等）の電源を入れます。プロジェクターは自動的にソースを搜索（検出）します。

❖ 画面に「信号なし」が表示されたら、信号ケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。

❖ 複数のソースを同時に接続している場合は、コントロールパネルの「ソース」ボタンを押すか、またはリモコンのソースボタンを押すと入力を切り換えることができます。

❷ Power/Standby
(電源/スタンバイ)

❶ レンズドア

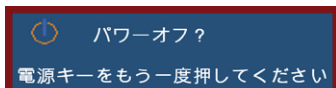


NOTE

❖ まずプロジェクターの電源を入れた後、信号入力源を選択してください。

プロジェクターの電源を切る

1. 「電源/スタンバイ」ボタンを押してプロジェクターのランプの電源を切ると、メッセージがプロジェクターの画面に表示されます。



2. 「電源/スタンバイ」ボタンをもう一度押して確認します。ボタンを押さなければ、15秒後にメッセージが消えます。「電源/スタンバイ」ボタンを2度押すと、画面にタイミングのカウントダウンが表示されます。
3. 冷却ファンが約10秒間操作を続け、冷却サイクルを実行します。電源LEDが黄色になると、プロジェクターがスタンバイモードに切り換わったことを意味します。
 - ❖ プロジェクターの電源を再び入れたい場合、プロジェクターが冷却サイクルを終了し、それからスタンバイモードに入るのを待つ必要があります。スタンバイモード中は、「電源」ボタンを押すだけでプロジェクターを再起動させることができます。
4. 電源コードをコンセントおよびプロジェクターから抜きます。
5. 電源を切った直後は、プロジェクターの電源を入れないでください。

警告インジケータ

- ❖ 「LAMP(ランプ)」インジケータが赤に点灯すると、ランプに問題があることを示し、プロジェクターは自動的に遮断します。最寄りの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。60-61ページを参照してください。
- ❖ 「TEMP(温度)」インジケータが赤く点灯した場合は、プロジェクターが過熱状態であることを意味します。プロジェクターの電源が自動的に切れます。

通常の条件下で、プロジェクターは冷却した後再び電源を入れることができます。それでも問題が解決されない場合、最寄りの代理店またはサービスセンターに連絡する必要があります。

60-61ページを参照してください。
- ❖ 「LAMP(ランプ)」インジケータが赤く点滅した場合は、ファンが正常に機能していないことを意味します。最寄りの代理店またはサービスセンターにご連絡ください。60-61ページを参照してください。

投射映像の調整

プロジェクターの高さを調整する

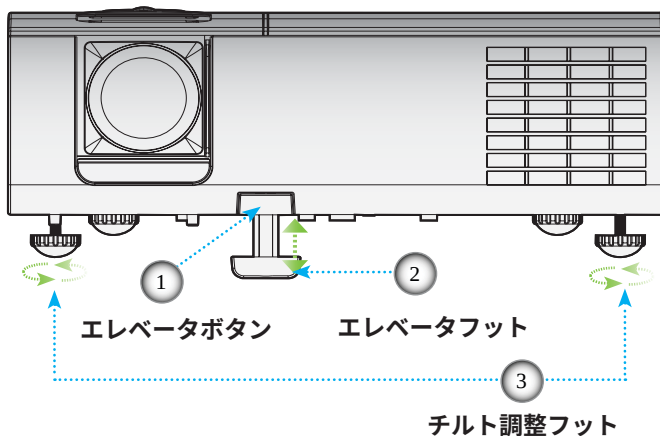
本プロジェクターには、投写映像の高さを調整するためのエレベータフットがあります。

映像を上に移動するには：

1. エレベータボタンを押します ❶
2. 映像をご希望の高さ（角度）になるまで上げたらボタンから手を離し ❷、エレベータフットをロックします。
3. 表示角度を微調整するには、チルト調整フット ❸ のネジを回して調節してください。

映像を下に移動するには：

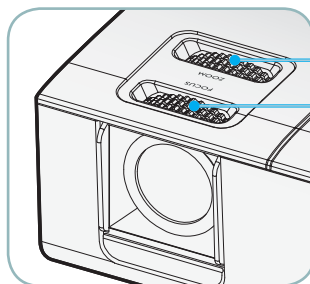
1. エレベータボタンを押します。
2. 映像をご希望の高さ（角度）になるまで下げたらボタンから手を離し、エレベータフットをロックします。
3. 表示角度を微調整するには、チルト調整フット ❸ のネジを回して調節してください。



設置方法

プロジェクターのズーム/フォーカスを調整する

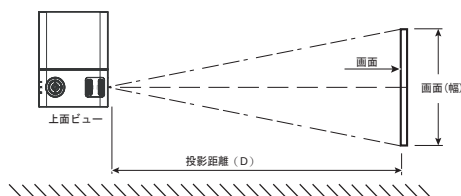
ズームリングを回してズームイン/ズームアウトします。映像にピントを合わせるには、映像がクリアに表示されるまでフォーカスリングを回します。本プロジェクターは、1.2 ～ 12.0 mの距離内でピントを合わせることができます。



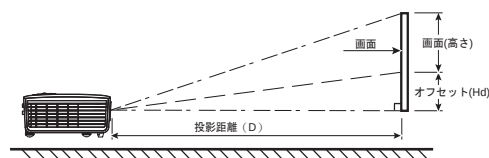
ズームリング

フォーカスリング

画面サイズと投射距離の目安



❖ 1フィート=0.3m、
1インチ=2.54 cm



16:9画面の対角長 (インチ)サイズ	画面サイズ (幅×高さ)				投影距離 (D)				オフセット(Hd)	
					(m)		(フィート)			
	(m)		(フィート)		Wide側	Tele側	Wide側	Tele側	(m)	(フィート)
50	1.11	0.62	3.63	2.04	1.72	1.89	5.63	6.19	0.12	0.39
60	1.33	0.75	4.36	2.45	2.06	2.26	6.75	7.43	0.14	0.47
70	1.55	0.87	5.08	2.86	2.40	2.64	7.88	8.67	0.17	0.55
80	1.77	1.00	5.81	3.27	2.75	3.02	9.01	9.91	0.19	0.63
90	1.99	1.12	6.54	3.68	3.09	3.40	10.13	11.15	0.22	0.71
100	2.21	1.25	7.26	4.09	3.43	3.77	11.26	12.38	0.24	0.79
120	2.66	1.49	8.72	4.90	4.12	4.53	13.51	14.86	0.29	0.95
150	3.32	1.87	10.89	6.13	5.15	5.66	16.89	18.58	0.36	1.18
200	4.43	2.49	14.53	8.17	6.86	7.55	22.52	24.77	0.48	1.58
300	6.64	3.74	21.79	12.26	10.29	11.32	33.77	37.15	0.72	2.37

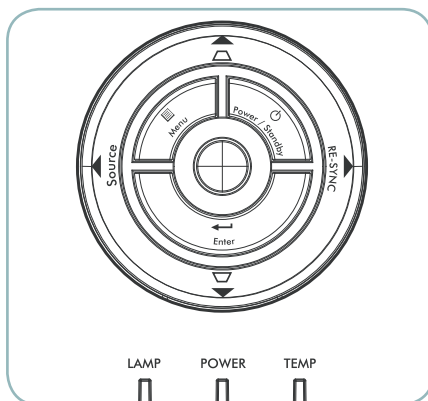
❖ 上図はユーザ参照用の目安です。

ユーザーコントロール

コントロールパネルおよびリモコン

機能を設定する方法は、次の2通りあります:コントロールパネルおよびリモコン。

コントロールパネル



コントロールパネルのボタン

Power (電源)	21～22ページの「プロジェクターの電源オン/オフ」を参照してください。
Menu (メニュー)	「メニュー」を押してオンスクリーン(OSD)メニューを起動します。OSDを終了するには、「メニュー」を再び押します。
Enter	選択した項目を確定します。
Source (ソース)	「Source(ソース)」を押して入力信号ソースを選択します。
Re-sync (再同期)	プロジェクターを自動的に入力ソースと同期化します。
キーストン □/△	プロジェクタを斜め方向から投写することにより生じる、画像のゆがみを調整します (716度)。
4方向選択キー	▲▼◀▶を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
💡 電源LED	プロジェクタのステータスを示します。
💡 ランプLED	プロジェクタのランプステータスを示します。
💡 温度LED	プロジェクタの温度ステータスを示します。

ユーザーコントロール

リモコン



リモコンのボタン

電源		21～22ページの[プロジェクターの電源オン/オフ]を参照してください。
モード		ディスプレイモードを、映画、明るさ、TV、写真、ユーザーの中から選択します。
16:9		16:9のアスペクト比でイメージを拡大縮小します。
Native		入力ソースは、拡大縮小せずに表示されます。
コントラスト		画像や映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。
メニュー		「メニュー」を押してオンスクリーン(OSD)メニューを起動します。OSDを終了するには、「メニュー」を再び押します。
Re-Sync (再同期)		プロジェクターを自動的に入力ソースと同期化します。
VGA		「VGA」を押してVGA D-Sub (15ピン)コネクタソースを選択します。
ビデオ		「ビデオ」を押してコンポジットビデオソースを選択します。
DVI		「DVI」を押してDVIソースを選択します。
S-ビデオ		「S-ビデオ」を押してS-ビデオソースを選択します。
コンポーネント		「Component(コンポーネント)」を押してコンポーネントビデオソースを選択します。
HDMI		「HDMI」を押してHDMIコネクタからソースを選択します。
Source (ソース)		[ソース]を押し、次の端子で入力信号ソースを選択します。

ユーザーコントロール

リモコン



エッジ マ
スク



表示する画像の各エッジに、2、3のピクセルをマスクオフします。画像ソースのディスプレイ画像の端近くにノイズが出る場合、この機能を使用して調整します

輝度



画像の輝度を調整します。

Letter-Box



全画面幅でアナモルフィックに拡張されたムービーをレターボックス付きで表示します。イメージのアスペクト比が1.78:1以下の場合、元のイメージが一部失われます。

4:3



4:3 のアスペクト比でイメージを拡大縮小します。

オーバース
キャン



プロジェクタディスプレイのズームイン/ズームアウトを切り替えます。

垂直キース
トーン



イメージの垂直方向の歪みを調整し、より正方形に近いイメージを描きます。

4方向選択
キー



▲ ▼ ◀ ▶ を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。

Enter



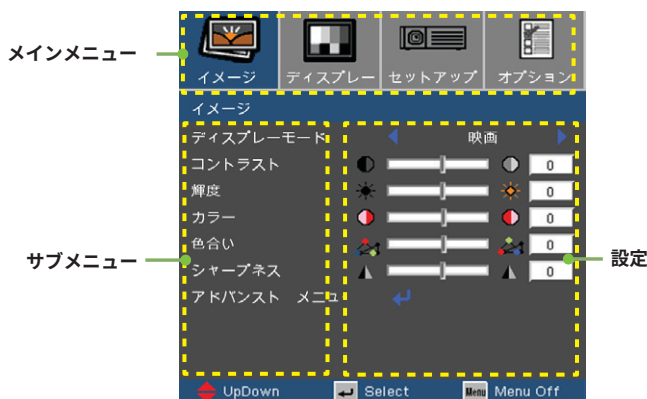
選択した項目を確定します。

オンスクリーンメニュー

本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクターは自動的にソースを搜索（検出）します。

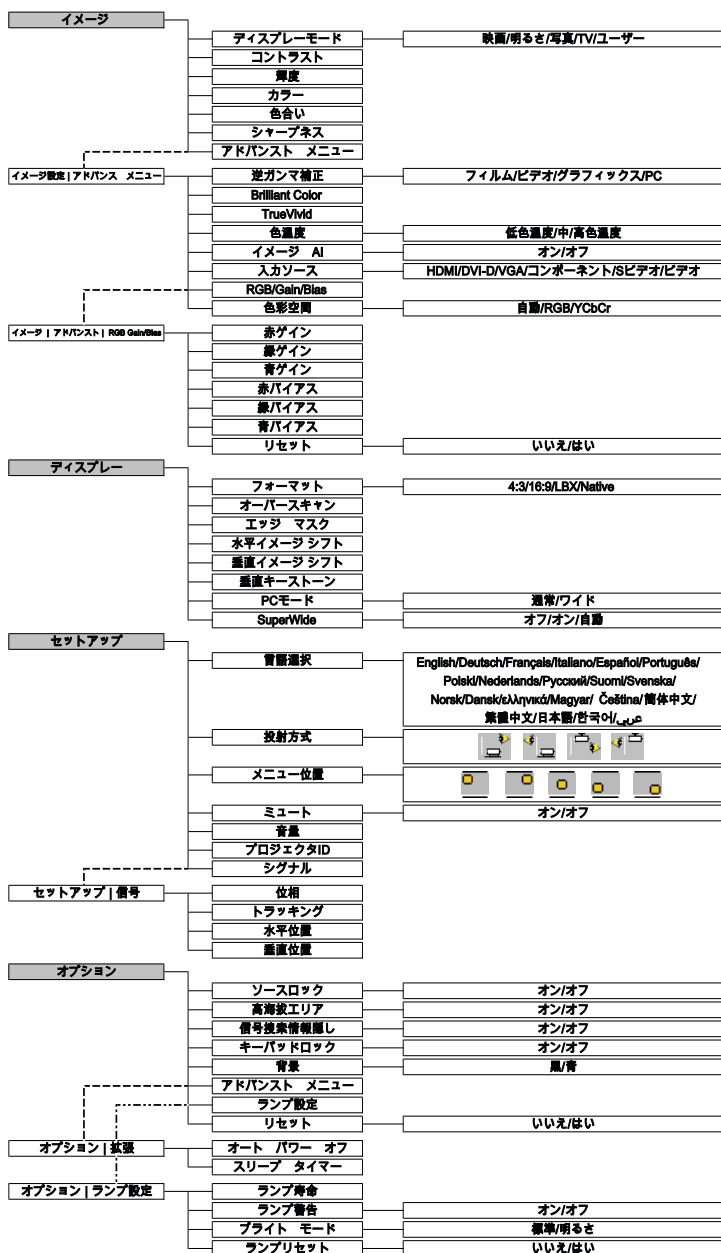
操作方法

1. OSDメニューを開くには、リモコンまたはプロジェクターキーパッドの「メニュー」ボタンを押します。
2. OSDが表示されたら、◀▶ キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、▼ または「Enter」 キーを押してサブメニューに進みます。
3. ▲▼ キーを使って目的の項目を選択し、◀▶ キーで設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. 「Enter」 ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度「メニュー」ボタンを押します。オンスクリーンメニューが閉じ、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



ユーザーコントロール

メニューツリー (階層)



ユーザーコントロール

イメージ



ディスプレイモード

各映像方式に最適化されたプリセット設定が用意されています。

- ▶ 映画: ホームシアター用。
- ▶ 明るさ: PC入力からの最大輝度。
- ▶ 写真: 最大カラー解像度。
- ▶ TV: TV用。
- ▶ ユーザー: ユーザー独自の設定用。

コントラスト

コントラストは、画像や映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。コントラストを調整すると、画像の黒と白の量が変化します。

- ▶ ◀を押すとコントラストが下がります。
- ▶ ▶を押すとコントラストが上がります。

輝度

画像の輝度を調整します。

- ▶ ◀を押すとイメージが暗くなります。
- ▶ ▶を押すとイメージが明るくなります。



※ 「イメージモード」>TV」は、デフォルトでは「4」刻みで「オーバースキャン」を自動的にサポートします。

イメージ



※ 「彩度」と「色合い」機能は、Videoモードでのみサポートされます。

カラー

ビデオ映像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

- ▶ ◀を押すと画像の色の量が減少します。
- ▶ ▶を押すと画像の色の量が増加します。

色合い

赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ▶ ◀を押すと画像の緑が強くなります。
- ▶ ▶を押すと画像の赤が強くなります。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ▶ ◀を押すとシャープネスが下がります。
- ▶ ▶を押すとシャープネスが強くなります。

イメージ設定 | アドバンス メニュー



逆ガンマ補正

入力ソースを最高画質で再現するために微調整されたガンマテーブルを選択することができます。

- ▶ フィルム: ホームシアター用。
- ▶ ビデオ: ビデオまたはTVソース用。
- ▶ グラフィックス: イメージソース用。
- ▶ PC: PCまたはコンピュータソース用。

Brilliant Color

この調整可能なアイテムは新しいカラー処理アルゴリズムとシステムレベルのエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、映像に真の、鮮やかなカラーを実現します。範囲は[0]から[10]の間です。画像をより強化したい場合は、最大設定方向に調整します。画像をよりスムーズに、より自然にしたい場合は、最小設定方向に調整します。

TrueVivid

この調整可能なアイテムは新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して、映像の鮮明さを大幅に増しています。

色温度

色温度を調整します。冷たい温度では、青みの強い冷たい雰囲気映像になり、暖かい温度では、赤みの強い暖かい雰囲気映像になります。

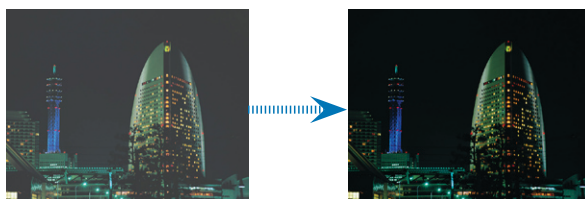
イメージ設定 | アドバンス メニュー



Image AI

イメージ AIは、映像のコンテンツに従ってランプの輝度を最適化することにより、映像のコントラストの向上を図っています。

- ▶ オン: ダイナミック画像パフォーマンスマネージャがアクティブになっていると、映画のもっとも暗い細部まで明瞭に再現され、全編を通して鮮明で明るい画像パフォーマンスをお楽しみいただけます。



- ▶ オフ: ダイナミックなイメージパフォーマンスマネージャは、スタンバイ状態にあります。

イメージ設定 | アドバンス メニュー



入カソース

信号源の選択をオンにします。以下のように「←」を押して次のメニューに入り、「←または→」を使って選択します。「ENTER」を押すと選択が確定されます。プロジェクターは、非選択状態の入力を検索しません。



ユーザーコントロール

イメージ設定 | アドバンス メニュー



RGB Gain / Bias

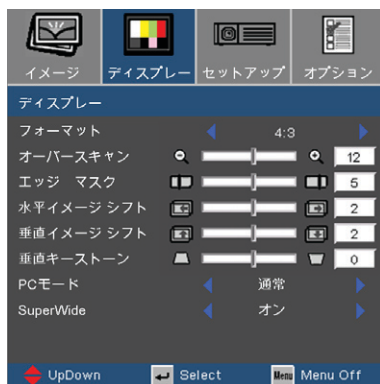
◀ を押して次のメニューに入り、▲ または ▼ を使ってアイテムを選択します。◀ または ▶ を使い、輝度（利得）とコントラスト（バイアス）に対して赤、緑、または青を選択します。



色彩空間

RGBまたはYCbCrから適切なカラーマトリックスタイプを選択します。

ディスプレイ

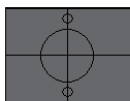


フォーマット

ここで、ご希望のアスペクト比を選択します。

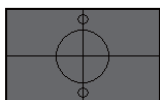
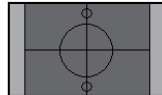
- ▶ 4:3: このフォーマットは4x3入力ソース用で、ワイドスクリーンTV用に機能強化されていません。
- ▶ 16:9: このフォーマットはワイドスクリーンTV用に機能強化されたHDTV と DVDなどの、16x9入力ソース用です。
- ▶ LBX: 16x9ではないLetterBoxソースを投写する場合や、16x9外部レンズを使用して画像を2.35:1アスペクト比で最大解像度により投写する場合に選択します。
- ▶ Native: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。

入力信号

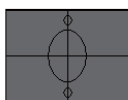


4:3フォーマット

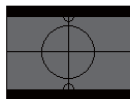
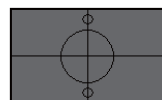
■ : ディスプレー域
■ : 映像表示域
スクリーン表示



または



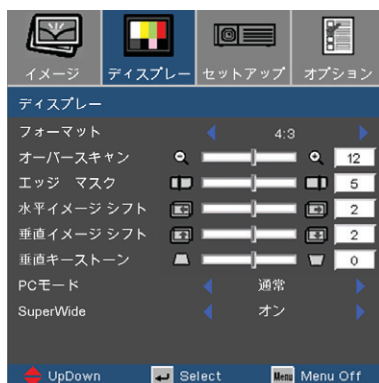
16:9フォーマット



LBXフォーマット



ディスプレイ



LBXモードに関する詳細情報:

1. LBX DVDコンテンツの中には16x9 TV用に機能強化されておらず、画像が16:9ディスプレイで正しく表示されない場合があります。正しい情報を表示するには、4:3モードを使用できます。しかし、コンテンツ自体が4:3でない場合、16:9ディスプレイの画像の回りに黒いバーが表示されます。この種類のコンテンツの場合、LBXモードを使用して画像を16x9ディスプレイに可能な限り表示することができます。
2. 外部16x9レンズを使用する場合、このLBXモードによりアナモフィックワイドをサポートする2.35:1コンテンツ(アナモフィックDVDとHDTVフィルムソースを含む)を視聴することも可能で、ワイド2.35:1画像では16x9ディスプレイに対して機能強化されています。

この場合、黒いバーは表示されず、完全なランプパワーと垂直解像度を最大限に活用して最大の表示効果が達成されます。

これら2つの場合以外は、ほとんどの表示体験の場合、16:9と4:3モードのままにしておく必要があります。

オーバースキャン

オーバースキャン機能では、ビデオ映像のノイズを除去します。イメージをオーバースキャンしてビデオソースのエッジのビデオエンコードノイズを削除します。

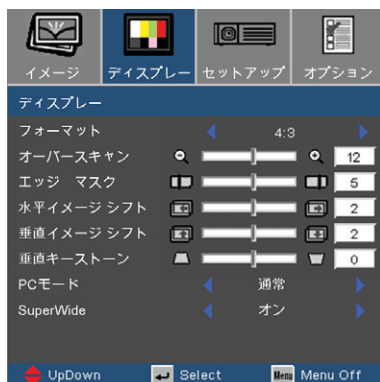
エッジ マスク

- ▶ ◀を押すとイメージのサイズが小さくなります。
- ▶ ▶を押すとスクリーンに投射されたイメージが拡大します。

水平イメージシフト

投影された画像位置を水平に移動します。

ディスプレイ



垂直イメージシフト

投影された画像位置を垂直に移動します。

垂直キーストーン

◀ または ▶ を押すと、画像のイメージの歪みが調整されより正方形に近いイメージが得られます。

PCモード

このモードは、どちらかのアナログ端子のPC信号でこのプロジェクター装置を使っているときにのみ使用できます。



❖ 「SuperWide」は、デフォルトでは[オフ]です。

❖ 「SuperWide」の使用法

1. Optomaから購入した2.0:1画面を使用します

2. SuperWide機能を自動的に設定します

3. プロジェクション上部のズームリングを使って、画像幅を画面の幅に合わせます

▶ **ワイド:** PC出力がワイドスクリーンフォーマット解像度である場合、この設定を選択する必要があります。

ワイドスクリーン解像度には、1280 x 720 / 1920 x 1080 などがあります。

▶ **通常:** PC出力が標準(4:3)解像度の場合、この設定を選択する必要があります。

標準解像度には、640 x 480 / 800 x 600 / 1024 x 768 / 1152 x 864 / 1280 x 1024 / 1400 x 1050 などがあります。

* サポートされるすべての解像度は54～55ページに一覧表示されています。

SuperWide

▶ **オフ:** フォーマットは4:3、16:9、LBX、Nativeを含め、目的のアスペクト比を選択できます。

▶ **オン:** フォーマットは4:3と16:9から選択できます。

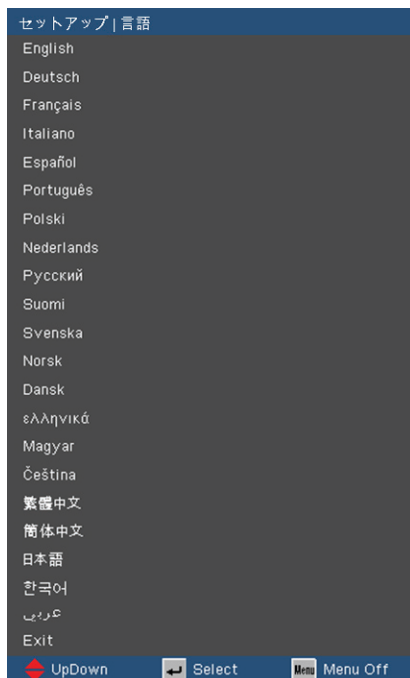
▶ **自動:** フィルム形式の違いを解決するために、オプションで形式を同じ比に維持することができます。

セットアップ



言語選択

多言語対応オンスクリーンメニューをご希望の言語に設定します。サブメニューの◀または▶を押し、▲または▼キーを使って好みの言語を選択します。「ENTER」を押すと選択が確定されます。



セットアップ



投射方式

- ▶  **正面-卓上**
工場出荷時はこれに設定されています。
- ▶  **裏側-卓上**
この機能を選択すると、透過スクリーンの裏側から投射できるように画像が反転します。
- ▶  **正面-天吊り**
この機能を選択すると、天井に取り付けたプロジェクターから投射することができるように画像の上下が反転します。
- ▶  **裏側-天吊り**
この機能を選択すると、画像の上下左右が同時に反転します。これにより、天井に取り付けたプロジェクターを使って、透過スクリーンの裏側から投射することができます。

メニュー位置

スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。

ミュート

- ▶ 「On(オン)」を選択するとミュートがオンになります。
- ▶ 「Off(オフ)」を選択するとミュートがオフになります。

セットアップ



音量

- ▶ ◀を押すと音量が下がります。
- ▶ ▶を押すと音量が上がります。

プロジェクタID

プロジェクタを個別にRS232から操作することができます。

セットアップ | 信号



- ❖ 信号のみはVGAとコンポーネント「シグナル」をサポートします。
- ❖ コンポーネント信号が480iまたは576iのとき、「位相」と「トラッキング」はサポートされません。

位相

ディスプレイデータ周波数を変更して、コンピュータのグラフィックカード周波数に適合させます。映像に縦の縞模様やちらつきが表れる場合は、この機能を使って調整します。

トラッキング

ディスプレイの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。

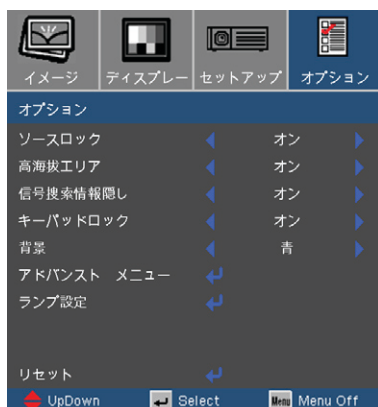
水平位置

- ▶ ◀を押すとイメージが左に移動します。
- ▶ ▶を押すとイメージが右に移動します。

垂直位置

- ▶ ◀を押すとイメージが下に移動します。
- ▶ ▶を押すとイメージが上に移動します。

オプション



ソースロック

- ▶ オン: プロジェクターは、指定した接続ポートを搜索します。
- ▶ オフ: プロジェクターは、現在の入力信号が途切れると、自動的に他の信号を搜索します。

高海拔エリア

「オン」を選択すると高海拔エリアモードが有効になります。ファンが最高速度で連続動作し、高海拔エリアにおいてプロジェクターを適切に冷却します。

信号搜索情報隠し

- ▶ オン: 「オン」を選択すると、検索メッセージが非表示になります。
- ▶ オフ: 「オフ」を選択すると、検索メッセージが表示になります。

キーパッドロック

キーパッドロック機能がオンになっているとき、コントロールパネルはロックされますが、プロジェクターはリモコンによって操作できます。この機能をキャンセルするには、リモコンを使うかコントロールパネルの「Enter」キーを7秒間押してこの機能をオフにします。

背景

この機能を使用して、信号が利用できない場合「青」または「黒」スクリーンを表示します。

リセット

←を押して次のメニューに入り、「はい」を選択すると、すべてのメニューのディスプレイパラメータが工場出荷時設定に戻ります。

オプション | 拡張



オート パワー オフ

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます(数分以内に)。

スリープ タイマー

カウントダウンタイマーの時間を設定します。タイマーは、入力信号のあるなしに関わらず開始します。スリープタイマーのカウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます。

オプション | ランプ設定



ランプ寿命

投射時間を表示します。

ランプ警告

ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。メッセージは、推奨されるランプの交換の約30時間前から表示されます。

ブライト モード

- ▶ 標準: 「標準」を選択するとプロジェクターランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、寿命を最大130%延長することができます。
- ▶ 明るさ: 「明るさ」を選択すると明るさが増します。

ランプリセット

ランプ交換後、ランプの寿命カウンタをリセットする際に使用します。

故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

(詳細は、60～61ページをご参照ください)

画像の問題

[?] スクリーンに何も画像が表示されない

- ▶ すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- ▶ コネクタのピンが曲がっていないか、または壊れていないか確認してください。
- ▶ プロジェクターランプが正しく取り付けられているか確認してください。「ランプの交換」を参照してください。
- ▶ レンズキャップが付いていないか、また、プロジェクタの電源が入っているか確認してください。

[?] 画像が部分的にしか表示されない、スクロールするまたは正しく表示されない

- ▶ リモコンの[再同期]を押します。
- ▶ PC使用時:

Windows 95, 98, 2000, XP:

1. 「マイコンピュータ」アイコンから「コントロールパネル」フォルダを開き、「ディスプレイ」アイコンをダブルクリックします。
2. 「設定」タブを選択します。
3. ディスプレー解像度設定がUXGA (1600 x 1200)以下であることを確認します。
4. 「詳細」 ボタンをクリックします。

それでもプロジェクターから画像全体が投射されない場合は、現在使用しているモニタディスプレイを変更する必要があります。次のステップをご参照ください。

5. 解像度設定がUXGA (1600 x 1200)以下であることを確認します。

6. 「Monitor (モニタ)」タブの「Change (変更)」ボタンを選択します。
 7. 「Show all devices (全デバイス表示)」をクリックします。次に、SPボックスで「Standard monitor types (標準モニタタイプ)」を選択し、「Models (モデル)」ボックスで必要な解像度モードを選択します。
 8. モニタディスプレイの解像度設定がUXGA (1600 x 1200)以下であることを確認します。
- ▶ ノートパソコン使用時:
1. まず、上記の手順に従ってコンピュータの解像度を調整します。
 2. 次に、トグル出力設定を押します。例:[Fn]+[F4]

Compaq ⇒	[Fn]+[F4]	Hewlett ⇒	[Fn]+[F4]
Dell ⇒	[Fn]+[F8]	Packard ⇒	[Fn]+[F4]
Gateway ⇒	[Fn]+[F4]	NEC ⇒	[Fn]+[F3]
IBM ⇒	[Fn]+[F7]	Toshiba ⇒	[Fn]+[F5]

Mac アップル:
システム設定 ⇒ ディスプレー ⇒ 調整 ⇒ ミラーディスプレイ

- ▶ 解像度を変更できない場合やモニタがフリーズした場合は、プロジェクトターを含むすべての機器を再起動してください。

❓ ノートパソコンの画面に、投射映像が表示されない

- ▶ ノートパソコン使用時
ノートパソコンの機種によっては、第二ディスプレイ機器使用中は、スクリーンが自動的に無効となります。再びスクリーンを有効にする方法は機種によって異なります。詳細につきましては、お使いのコンピュータの取扱説明書をご参照ください。

❓ 画像が乱れる、またはちらつく

- ▶ 「トラッキング」を使って修正してください。詳細は、42ページをご参照ください。
- ▶ コンピュータのモニタのカラー設定を変更してください。

❓ 映像に縦の縞模様が出る

- ▶ 「位相」を調整してください。詳細は、42ページをご参照ください。
- ▶ グラフィックカードのディスプレイモードがプロジェクトターと一致しているか確認し、一致していない場合は再設定してください。

❓ 画像のピントが合っていない

- ▶ レンズのドアが開いていることを確認してください。
- ▶ プロジェクターレンズのフォーカスリングで調整してください。
- ▶ プロジェクターと投射スクリーン間の要求される距離が1.2～12.0 m以内にあることを確認してください。詳細は24ページをご参照ください。

❓ 16:9 DVDを再生表示しているとき、映像が伸びる。

アナモフィックDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で16:9フォーマットで最高の画像を表示します。

4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクターOSDで4:3としてフォーマットを変更してください。

それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を変更する必要があります。

- ▶ お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとしてディスプレイフォーマットをセットアップしてください。

❓ 画像が小さすぎるまたは大きすぎる

- ▶ プロジェクター上部のズームリングを調整します。
- ▶ プロジェクターをスクリーンに近づけたり離したりしてください。
- ▶ リモコンまたはコントロールパネルの「メニュー」ボタンを押して、「ディスプレイ → フォーマット」に移動し異なる設定を試してください。

❓ 画像の両側が斜めになる

- ▶ 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
- ▶ 両側がリモコンで垂直になるまで「Keystone(キーストーン) +/-」ボタンを押します。

❓ 映像が反転する

- ▶ スクリーンメニューから「セットアップ → 投射方式」を選択し、投射方向を調整してください。



❖ Keystoneの使用はお勧めしません。

中断の問題

[?] プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- ▶ 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、60秒待ってから電源を接続し直してください。

[?] ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ▶ ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。「ランプの交換」（60～61ページ）に記載の手順に従ってランプを交換してください。

プロジェクターステータスの表示

[?] LED 点灯メッセージ

メッセージ	電源/スタンバイ	温度LED	ランプLED
	(緑/黄)	(赤)	(赤)
スタンバイ状態 (電源コード接続済)	黄	○	○
電源オン (ウォーミング)	緑で点滅	○	○
ランプ点灯	緑	○	○
エラー (過熱)	○	☀	○
エラー (ファントラブル)	○	○	点滅 (1秒オン、1秒オフ)
エラー (ランプトラブル)	○	○	☀



点灯 ⇨ ☀

消灯 ⇨ ○

警告メッセージ

ファンのトラブル:

警告。ファンがロックされています

プロジェクタは自動的にスイッチがオフになります。

修理については、サービスセンターにお問い合わせください。

温度警告:

警告。温度が高すぎます。

注意事項:

1. 空気の吸気・排気口がブロックされていないことを確認してください。

2. 周辺温度が40°C以下であることを確認してください。

上記を確認したにも関わらず問題が解決しない場合。

修理については、サービスセンターにお問い合わせください。

ランプの交換:



ランプ警告

ランプの寿命を過ぎています。

表示範囲外:



ビデオ

範囲はずれ

リモコンの問題

[?] リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- ▶ リモコンの操作角度が約 $\pm 22.5^\circ$ になっていることを確認する。
- ▶ リモコンとプロジェクターのボックスの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターのボックスから6 m以内に移動する。
- ▶ 電池が正しくセットされていることを確認する。
- ▶ 電池残量がなくなっていないか確認する。残量がなくなっている場合、リモコンの電池を交換する。

ランプの交換

プロジェクターはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づいている場合、警告メッセージが表示されます。



ランプ警告

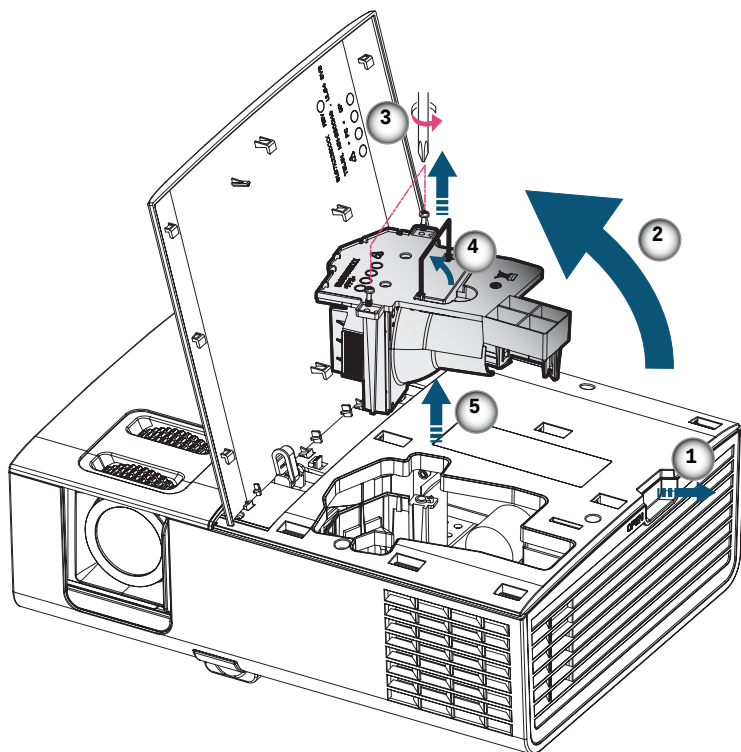
ランプの寿命を過ぎています。

このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクターが十分冷却されるまで約30分お待ちください。

! Caution !

If ceiling mounted, use caution when opening lamp panel - Please see user manual for details

- ⚠ 警告: 天上から吊り下げる場合、ランプアクセスパネルを開けるときは注意してください。天上から吊り下げているとき、電球を交換する場合安全メガネを着用することをお勧めします。「プロジェクタからゆるんだ部品が落下しないように、注意を払う必要があります」。
- ⚠ 警告: ランプ収納箱は熱くなっている可能性があります! 冷却するまでお待ちいただき、ランプの熱が冷めてから交換してください。
- ⚠ 警告: 怪我を防ぐため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に碎けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。



○ ランプ交換手順： ○

1. 「電源/スタンバイ」 ボタンを押してプロジェクタの電源を切ります。
 2. ランプが十分冷却されるまで約30分間お待ちください。
 3. 電源コードを外します。
 4. カバーを慎重に引っ張ります。❶
 5. 上部カバーを開きます。❷
 6. ランプモジュールに取り付けられている2本のネジを、ドライバーで取り外します。❸
 7. ランプハンドルを慎重に引っ張ります。❹
 8. ランプモジュールを引き上げて取り外します。❺
- ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。
9. ランプモジュールを交換したら、プロジェクタの電源を入れ「ランプリセット」を使用します。

ランプリセット: (i) 「メニュー」を押して (ii) 「オプション」を選択して (iii) 「ランプ設定」を選択して (iv) 「ランプリセット」を選択して (v) 「はい」を選択します。

互換モード

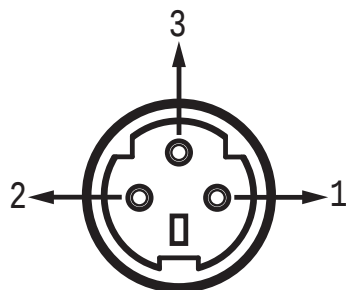
モード	解像度	垂直周波数 (Hz)	アナログ	デジタル
VGA	640 x 350	70	✓	×
	640 x 350	85	✓	×
	640 x 400	85	✓	×
	640 x 480	60	✓	✓
	640 x 480	72	✓	✓
	640 x 480	75	✓	✓
	640 x 480	85	✓	✓
	720 x 400	70	✓	✓
	720 x 400	85	✓	×
SVGA	800 x 600	56	✓	×
	800 x 600	60	✓	✓
	800 x 600	72	✓	✓
	800 x 600	75	✓	✓
	800 x 600	85	✓	×
XGA	1024 x 768	60	✓	✓
	1024 x 768	70	✓	✓
	1024 x 768	75	✓	✓
	1024 x 768	85	✓	×
SXGA	1152 x 864	70	✓	×
	1152 x 864	75	✓	×
	1152 x 864	85	✓	×
	1280 x 1024	60	✓	✓
	1280 x 1024	75	✓	✓
	1280 x 1024	85	✓	×
SXGA+	1400 x 1050	60	✓	✓
UXGA	1600 x 1200	60	✓	✓
ワイド	1280 x 720	60	✓	✓
	1280 x 720	50	×	✓
	1920 x 1080	60	×	✓
	1920 x 1080	24	×	✓
	1920 x 1080	50	×	✓

互換モード

モード	解像度	垂直周波数 (Hz)	アナログ	デジタル
Power Book G4	640 x 480	60	✓	×
	640 x 480	72	✓	×
	640 x 480	75	✓	×
	640 x 480	85	✓	×
	800 x 600	60	✓	×
	800 x 600	75	✓	×
	800 x 600	85	✓	×
	1024 x 768	60	✓	×
	1024 x 768	70	✓	×
	1024 x 768	75	✓	×
	1024 x 768	85	✓	×
	1280 x 768	60	✓	×
	1280 x 768	70	✓	×
	1280 x 720	60	✓	×
	1280 x 1024	60	✓	×
	1280 x 1024	75	✓	×
	1400 x 1050	60	✓	×
	1600 x 1200	60	✓	×
Power G4	640 x 480	72	✓	×
	640 x 480	75	✓	×
	640 x 480	85	✓	×
	800 x 600	60	✓	×
	800 x 600	75	✓	×
	800 x 600	85	✓	×
	1024 x 768	60	✓	×
	1024 x 768	70	✓	×
	1024 x 768	75	✓	×
	1024 x 768	85	✓	×
	1280 x 768	60	✓	×
	1280 x 1024	60	✓	×
	1280 x 1024	75	✓	×
	1600 x 1200	60	✓	×
iMAC	1024 x 768	60	✓	×

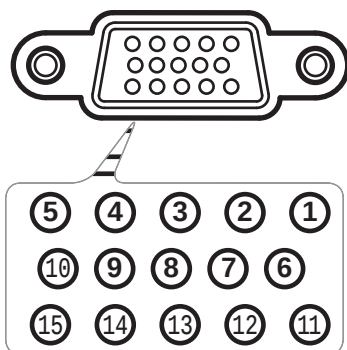
RS232 コマンド

RS232 端子



ピン番号	信号名	I/O (プロジェクタ側)
1	TXD	OUT
2	RXD	IN
3	GND	—

VGA 入力端子



信号名	仕様
1	R(赤)/Cr
2	G(緑)/Y
3	B(青)/Cb
4	GND
5	GND
6	GND
7	GND
8	GND
9	DDC 5V
10	GND
11	GND
12	DDC 日付
13	HD/CS
14	VD
15	DDC クロック

RS232プロトコル機能リスト RS232 コマンド

ボーレート:9600
データビット:8
パリティ:なし
停止ビット:1
フロー制御:なし
UART16550 FIFO:無効
プロジェクト復帰(成功):P
プロジェクト復帰(失敗):F

Lead Code	Function	Projector ID	Command ID	space	variable	OR	Comment
Power	On/Off	m1/m2	ASCII		Pass	Fail	Hex
Re-sync		m1/m2	~XX00 n	P	F		Independent of OSD
Mute		m1/m2	~XX01 n	P	F		Independent of OSD
Zoom Plus		m1	~XX02 n	P	F		Independent of OSD
Zoom Minus		m1	~XX03 n	P	F		Independent of OSD
Up (Pan under zoom)		m1	~XX04 n	P	F		Independent of OSD
Down (Pan under zoom)		m1	~XX05 n	P	F		Independent of OSD
Left (Pan under zoom)		m1	~XX06 n	P	F		Independent of OSD
Right (Pan under zoom)		m1	~XX07 n	P	F		Independent of OSD
Direct Source Commands	DVI-D	m1	~XX08 n	P	F		Independent of OSD
	HDMI	m1	~XX09 n	P	F		Independent of OSD
	BNC	m1	~XX10 n	P	F		Independent of OSD
	VGA 1	m1	~XX11 n	P	F		Independent of OSD
	VGA 1 SCART	m1	~XX12 n	P	F		Independent of OSD
	VGA 1 Component	m1	~XX13 n	P	F		Independent of OSD
	S-Video	m1	~XX14 n	P	F		Independent of OSD
	Video	m1/m2	~XX15 n	P	F		Independent of OSD
	Cinema	m1	~XX16 n	P	F		Interacts with OSD
	Bright	m1	~XX17 n	P	F		Interacts with OSD
Display Mode	Mute	m1	~XX18 n	P	F		Interacts with OSD
	TV	m1	~XX19 n	P	F		Interacts with OSD
	User	m1	~XX20 n	P	F		Interacts with OSD
	Brightness	m1	~XX21 n	P	F		Interacts with OSD
	Contrast	m1	~XX22 n	P	F		Interacts with OSD
	Color	m1	~XX23 n	P	F		Interacts with OSD
	Yuv	m1	~XX24 n	P	F		Interacts with OSD
	Sharpness	m1	~XX25 n	P	F		Interacts with OSD
	Gamma	m1	~XX26 n	P	F		Interacts with OSD
	Gamma	m1	~XX27 n	P	F		Interacts with OSD
IMAGE	Gamma	m1	~XX28 n	P	F		Interacts with OSD
	Gamma	m1	~XX29 n	P	F		Interacts with OSD
	Gamma	m1	~XX30 n	P	F		Interacts with OSD
	Gamma	m1	~XX31 n	P	F		Interacts with OSD
	Gamma	m1	~XX32 n	P	F		Interacts with OSD
	Gamma	m1	~XX33 n	P	F		Interacts with OSD
	Gamma	m1	~XX34 n	P	F		Interacts with OSD
	Gamma	m1	~XX35 n	P	F		Interacts with OSD
	Gamma	m1	~XX36 n	P	F		Interacts with OSD
	Gamma	m1	~XX37 n	P	F		Interacts with OSD
Advanced	Color Temp.	m1	~XX38 n	P	F		Interacts with OSD
	Color Temp.	m1	~XX39 n	P	F		Interacts with OSD
	Color Temp.	m1	~XX40 n	P	F		Interacts with OSD
	Color Temp.	m1	~XX41 n	P	F		Interacts with OSD
	Color Temp.	m1	~XX42 n	P	F		Interacts with OSD
	Color Temp.	m1	~XX43 n	P	F		Interacts with OSD
	Color Temp.	m1	~XX44 n	P	F		Interacts with OSD
	Color Temp.	m1	~XX45 n	P	F		Interacts with OSD
	Color Temp.	m1	~XX46 n	P	F		Interacts with OSD
	Color Temp.	m1	~XX47 n	P	F		Interacts with OSD
DISPLAY	Color Space	m1	~XX48 n	P	F		Interacts with OSD
	Color Space	m1	~XX49 n	P	F		Interacts with OSD
	Color Space	m1	~XX50 n	P	F		Interacts with OSD
	Color Space	m1	~XX51 n	P	F		Interacts with OSD
	Color Space	m1	~XX52 n	P	F		Interacts with OSD
	Color Space	m1	~XX53 n	P	F		Interacts with OSD
	Color Space	m1	~XX54 n	P	F		Interacts with OSD
	Color Space	m1	~XX55 n	P	F		Interacts with OSD
	Color Space	m1	~XX56 n	P	F		Interacts with OSD
	Color Space	m1	~XX57 n	P	F		Interacts with OSD
SETUP	Language	m1	~XX58 n	P	F		Interacts with OSD
	Language	m1	~XX59 n	P	F		Interacts with OSD
	Language	m1	~XX60 n	P	F		Interacts with OSD
	Language	m1	~XX61 n	P	F		Interacts with OSD
	Language	m1	~XX62 n	P	F		Interacts with OSD
	Language	m1	~XX63 n	P	F		Interacts with OSD
	Language	m1	~XX64 n	P	F		Interacts with OSD
	Language	m1	~XX65 n	P	F		Interacts with OSD
	Language	m1	~XX66 n	P	F		Interacts with OSD
	Language	m1	~XX67 n	P	F		Interacts with OSD

OPTIONS	Source Lock	On/Off	m=1/m=2	-XX100.n	P	F	Interacts with OSD
	High Altitude	On/Off	m=1/m=2	-XX101.n	P	F	Interacts with OSD
	Information Help	On/Off	m=1/m=2	-XX102.n	P	F	Interacts with OSD
	Keypad Lock	On/Off	m=1/m=2	-XX103.n	P	F	Interacts with OSD
	Background Color	Blue	m=1	-XX104.n	P	F	Interacts with OSD
		Black	m=2				Interacts with OSD
	Auto Power Off (min)		m=0-180	-XX106.n	P	F	Interacts with OSD Auto power off (No signal input) with 1 minute count-down
	Advanced						
	Sleep Timer (min)		m=000-999	-XX107.n	P	F	Interacts with OSD Auto power off (No signal input) with 1 minute count-down
	Lamp Hour	On/Off	m=1	-XX108.n	P	F	Interacts with OSD
	Lamp Reminder	On/Off	m=1/m=2	-XX109.n	P	F	Interacts with OSD
	Brightness Mode	Regio/STD	m=1/m=2	-XX110.n	P	F	Interacts with OSD
	Lamp Reset	Yes	m=1	-XX111.n	P	F	Interacts with OSD
		No	m=2				Interacts with OSD
	Reset	Yes	m=1	-XX112.n	P	F	Interacts with OSD Return to Factory default
		No	m=2				
Information from Projector Automatically							
when:							
	Standby Mode		a=0		INF	■	
	Warning up		a=1		INF	■	
	Cooling Down		a=2		INF	■	
	Out of Range		a=3		INF	■	
READ/Status information from projector							
Information							
	a = Power State	On/Off	m=1	-XX110.n	On	■	000000000000
	b = Lamp Hour		a=1/0				0000
	c = Input Source Commands	None	c=0				
		DVI	c=1				
		VGA1	c=2				
		VGA2	c=3				
		S-Video	c=4				
		Video	c=5				
		BNC	c=6				
		HDMI1	c=7				
		HDMI2	c=8				
		Wireless	c=9				
	d = Firmware Version		0000				
	e = Display mode	Presentation	e=0				
		Bright	e=1				
		Movie	e=2				
		RGB	e=3				
		User(1)	e=4				
		User(2)	e=5				
	Model Name	Depends	m=1	-XX151.n	On	■	
			a=0/1/2				
	RS232 Version No	Depends	m=1	-XX152.n	On	■	
			a=??				

天井への取り付け

1. プロジェクタの損傷を防ぐため、必ずOptomaの推奨する取り付けパッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクタを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。

- ▶ ネジの種類：M3
- ▶ 最大ネジ長：10mm
- ▶ 最小ネジ長：7.5mm

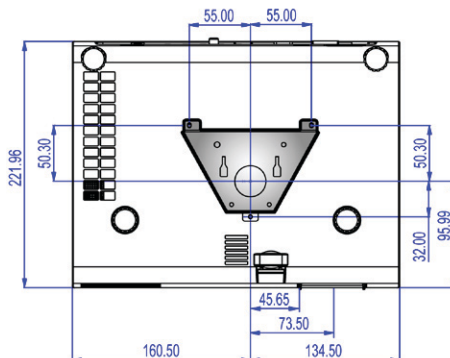
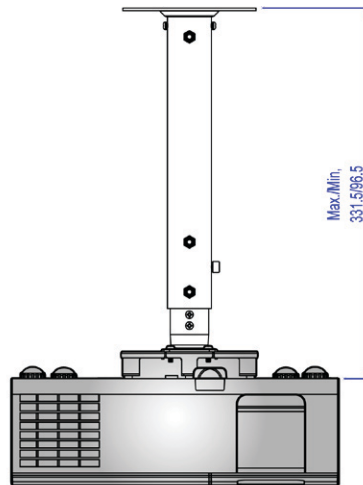


※ プロジェクターを正しく取り付けしていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。



警告:

1. 天吊り用キットを他社からご購入された場合は、プロジェクターの底面を、最低でも10cm以上天井から離して設置してください。
2. エアコン、ヒーターなどの熱を発する機器から離して設置してください。熱源の近くに設置した場合は、プロジェクタが過熱し自動的に電源が切れる可能性があります。



Optoma 社 お問い合わせ先

サービスやサポートにつきましては、最寄のオフィスまでご連絡ください。

アメリカ

715 Sycamore Drive
Milpitas, CA 95035, USA
www.optomausa.com

電話: 408-383-3700 (English / French)
Fax : 408-383-3702
メールアドレス: services@optoma.com

カナダ

5630 Kennedy Road, Mississauga,
ON, L4Z 2A9, CANADA
www.optoma.ca

電話: 905-361-2582
Fax : 905-361-2581

ヨーロッパ

42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire,
WD18 8QZ, UK
www.optoma.eu

電話: +44 (0) 1923 691 800
Fax : +44 (0) 1923 691 888

カスタマーサービス TEL : +44 (0)1923 691865
メールアドレス: service@tsc-europe.com

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

電話: +33 1 41 46 12 20
Fax : +33 1 41 46 94 35
メールアドレス: savoptoma@optoma.fr

スペイン

Paseo de la Castellana
135 7 Planta
Madrid, Spain

電話: +34 91 790 67 01
+34 91 790 67 02
Fax : + 34 91 790 68 69

ドイツ

Werftstrasse 25
D40549 Düsseldorf,
Germany

電話: +49 (0) 211 506 6670
Fax : +49 (0) 211 506 66799
メールアドレス: info@optoma.de

スカンジナビア

Grev Wedels Plass 2
3015 Drammen
Norway

電話: +47 32 26 89 90
Fax : +47 32 83 78 98
メールアドレス: info@optoma.no

南米

715 Sycamore Drive
Milpitas, CA 95035, USA
www.optoma.com.br

電話: 408-383-3700
Fax : 408-383-3702
www.optoma.com.mx

韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F,Minu Bldg.33-14, Kangnam-Ku,
seoul,135-815, KOREAN

電話: +82+2+34430004
Fax : +82+2+34430005

日本

東京都足立区綾瀬3-25-18
オーエス本社ビル
サポートセンター:0120-46-5040

E-mail : info@osscreen.com
www.os-worldwide.com

台湾

5F., No. 108, Minchiuan Rd.
Shindian City,
Taipei Taiwan 231, R.O.C.
www.optoma.com.tw

電話: +886-2-2218-2360
Fax : +886-2-2218-2313
メールアドレス: services@optoma.com.tw
asia.optoma.com

香港

Unit A, 27/F Dragon Centre,
79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan,
Kowloon, Hong Kong

電話: +852-2396-8968
Fax : +852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China

電話: +86-21-62947376
Fax : +86-21-62947375
www.optoma.com.cn

規制と安全に関する通知

この付録では、お使いのプロジェクターの一般的通知を一覧表示しています。

FCC通知

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお勧めします。

- ・受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- ・本装置と受信機の距離を離す。
- ・本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- ・販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

通知: シールドされたケーブル

他のコンピュータ装置へのすべての接続には、FCC規制に準拠するためにシールドされたケーブルを使用する必要があります。

注意

FCC準拠に責任を持つ第三者からの明確な許可を受けることなく、本体に製造元から承認されていない変更や改造が行われた場合には、本装置を使用する権利が規制される場合があります。

操作条件

本製品はFCC規則パート15に準拠しています。
操作は次の2つの条件に規制されます:

1. 電波障害を起こさないこと、
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

通知: カナダのユーザー

このクラスBデジタル機器はカナダICES-003に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numerique de la classe B est conforme a la norme NMB-003 du Canada.

EU諸国に対する適合宣言

- EMC指令89/336/EEC(修正案を含む)
- 低電圧指令73/23/EEC
(93/68/EECにより修正)
- R & TTE指令1999/EC(製品のRF機能が搭載されている場合)

廃棄に関する指示



この電子デバイスを処分するとき、ごみ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え地球環境を最大限に保護するため、本製品をリサイクルしてください。